

至福の海

スワーム・ヴァースデーヴァーナダ

私は何千年も待っていたように思える
すでに信念をなくし、涙も枯れていた
私は叫んだ、「神よ、私を行かせてください、私はここにとどまりません」。
私の嘆願を聞いた時、神は歌っていた。

おお、私はあなたに大地を与え、海を与えている
そして、自由が吹く大気と空を与えている
それでも、あなたは失敗したと泣き、見えないと泣く
だから、あなたを私の元に連れて来る聖人をあなたに与える
彼の足元で、あなたは人間が何になり得るかを学ぶだろう
彼が来たら、あなたは歌いながら彼の元に行かねばならない。

すると、私の人生の扉が大きく開かれた
そして師が現れ、太陽が内側に注がれた
そして私は愛を歌おうとし、自分が偽っていたことを知った
私は本当に長い間、痛みから、プライドから歌ってきた
それでも、彼は言った

恐れることはない、ここに来て、私のそばにいなさい、
私が歌の先生だと知らないのかい？

そして、あなたの心の中には至福の海がある
あなたは今日そこに旅することができる。
幾つもの聖なる川が至福の海に流れ込む
そして水は自らの道を流れる。
ひとたび神を内側に見ると
あなたはどこにでも彼を見つけるだろう
だから、内側の喜びの源に、ただ向かいなさい
あなたはそこから、歌うことを学ぶことができる。

そうして、私は冬が終わるまで彼の足元にとどまった
そして、私は知っていたのに忘れていた、多くのことを学んだ
そして、私は自分が歌っているのを聞き、彼が歌っているのも聞いた

ヘー ナータ ナーラーヤナ ヴァースデーヴァ
それは私に起こった
それはあなたに起こるだろう
ヘー ナータ ナーラーヤナ ヴァースデーヴァ

彼は決して弱まることのない火をともした
私の残りの人生、私は彼への称賛を歌おう
すると、彼は私を送り出した、私には支払うべき負債があり
そして、私がどこにいるのか知りたがっている子がいた
その日の生活をすると同時に、彼が再び私を呼ぶと
心の中で、今も私は歌いながら彼の元に行く

あなたの心の中には至福の海がある

あなたは今日そこに旅することができる。
幾つもの聖なる川が至福の海に流れ込む
そして水は自らの道を流れる。
ひとたび神を内側に見ると
あなたはどこにでも彼を見つけるだろう
だから、私は内側の喜びの源に向かう
そしてそこで、私のグルに会う。

私は歓喜と共に歌い、光の中で喜ぶ、
私のグルの至福が私自身の至福を目覚めさせてくれたのだから。
私は感謝にあふれ、喜びに踊っている
そして、私の心は私のグルへの愛に満ちている。

「至福の海」について

スワーム・ヴァースデーヴァーナダ

1975年9月、私はカリフォルニア州アーケータでバーバ・ムクターナダが開催した1カ月間のリトリートに参加した後、オークランドのシッダ・ヨーガ・アーシュラムに住み、セーヴァーをささげ始めました。ニューヨーク大学芸術学部の教職を辞めて、ニュージャージー州ロングブランチにある家を売りに出し、私がいないうちに売れることを願っていました。

しかし、数カ月たっても、家は空き家のまま売れ残り、私は蓄えを使い果たし、借金がかさみ、債権者が私を追い掛けました。ついに、1976年2月のある日、バーバは私に、戻って自分の人生を片付けなければならないと言いました。

私はニューヨーク市に戻り、信奉者の大きなアパートの部屋を借りて、わずかな成果しか得られない仕事を探し始めました。どんなことにも身が入りませんでした。まるで人生が閉ざされた漂流者のように感じました。

ある日、マンハッタンのシッド・ヨーガ・アーシュラムで、知り合いの女性が、私にあるレコードをくれました。彼女は、バーバが夢に現れてこう言ったと説明しました。「このレコードをヴァースデーヴ(バーバが私に付けた名前)に渡しなさい。これが彼の音楽を解き放ち、彼はそれを他の人と分かち合えるようになるだろう」

部屋に戻ってレコードをかけると、それは何年も前の10代の頃、実家の庭で働いていた時によくラジオで聞いた曲だと気づきました。深く感動して探したのですが、名前が分からなかったのです。レコードジャケットで、「パッヘルベルのカノン」だと、ようやく分かりました。

そのレコードをかけ始めた瞬間、心のこわばりが解けたかのような感じでした。涙があふれ始め——そして、涙と共に、歌の最初の一行がひらめきました。

それから数日間、私がレコードをかけるたびに、より多くの涙があふれ、それと共により多くの言葉があふれ出て——ついにこの歌が完成に至りました。

私がこの曲を書いてから何十年もたちました。その間、私は何とか借金を返済し、娘が大人になって私が祖父になるという幸せを与えてくれるのを見届け、そして幸運にもグルに奉仕するために残りの人生をささげてきました。何年たっても、この歌が伝える意味は真実であり続けていることが分かります。そこで、今年のバーバ・ムクターナンダの太陰暦の誕生日を祝って、このささげものを作りたいと思います。



© 2021 SYDA Foundation®. 著作權所有。